

1. 11月全国行事

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1) 特定自主検査強調月間  | 11月1日～11月30日 |
| 2) ボイラーデー(鞆祭り) | 11月8日        |
| 3) 秋の全国火災予防運動  | 11月9日～11月15日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 同僚・メンバーの不安全行動に注意を

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 事故・災害事例から : 手回しのVベルトに指を挟んで負傷

5. ヒヤリハット事例 : パレットの角に足を引っかけて転倒

2. 安全・衛生・防災の心得 : 同僚・メンバーの不安全行動に注意を

～本人は危ないことに気が付いていないかも～

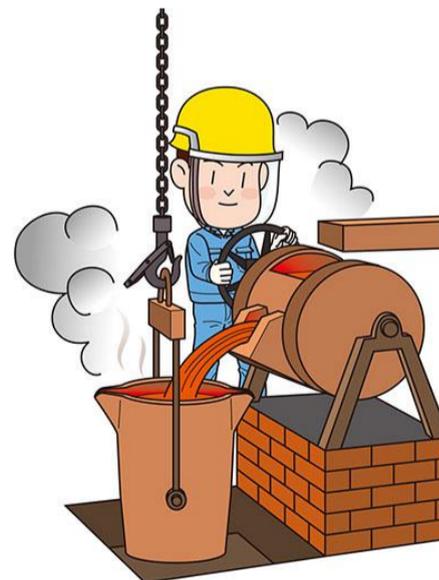
最近、現場で同僚やメンバーが不安全な行動を行っていても、注意せず無関心を装う人が多くなってきたといわれています。

労働災害のほとんどは、設備や機械などの「物の不安全な状態」と、不注意などの「人の不安全な行動」が重なって発生しています。

うっかり・不注意などの不安全な行動は、当人も気が付かないで行っている場合があるので特に次の様な不安全な行動を行ったり、また、行おうとしていたら、直ちに注意して止めさせることが肝要です。

- ①安全装置を外したり、無効にしたり、破損したまま使用している
- ②安全衛生規定や作業手順(マニュアル等)を守らないで作業している。
- ③無資格者が就業制限業務を行っている。
- ④共同作業において、指揮者や合図を決めないで作業している。
- ⑤機械を止めないで異常処置や注油、清掃を行っている。
- ⑥間に合わせの工具や道具で機械などの修理や調整を行っている。
- ⑦その作業に必要な保護具を使用していない。
- ⑧危険な位置や姿勢で作業を行っている、など。

○このような「不安全行動」をなぜ行ったか、行われているかなどと、その原因を話し合っはて是正や改善を進める必要があります。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

● 古河工場

- ・作業台の高さを検討し、腰痛対策などへの取組



● 伊丹工場

- ・4M変化点管理ボードを日々更新し、品質面と安全面の向上に役立っていた



4. 事故・災害事例から： 他社災害事例 手回しのVベルトに指を挟んで負傷  
～機械等の「慣性・惰性」も危険性に注意～

(1) 災害のあらまし

定期メンテナンス工事中、運転作業員(25歳・男性・勤続7年)が大型コンプレッサーの5本全部のVベルトを交換する作業を行っていた際、大きいプーリー側を回してベルトをかけ、ベルトをプーリーになじませるため、ベルトに手をかけて引いていたところ、勢い余ってプーリーとベルトに右手第2、3指を挟まれ骨折したものです。

(2) 災害の主な原因

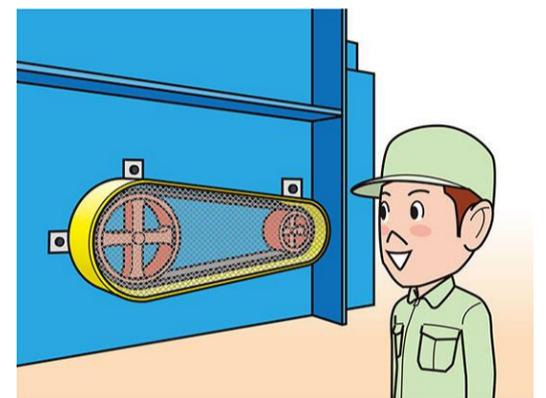
- ①ベルトをプーリーになじませる際、手元をよく確認しないで、勢いよくベルトがかかったプーリーを回転させたため、指を挟んだこと。
- ②軍手を巻き込まれやすい状態で使用していたため、巻き込まれてしまったこと。
- ③Vベルト交換作業の作業手順が定められておらず、教育も実施されていなかったこと、など。

(3) 同種災害の防止対策 例

- ①ベルト等をプーリーになじませる際は、つい勢いをつけて行いがちであるが、手順を踏んで慎重に行うよう習慣づける。この際の軍手の使用禁止も規定する。
- ②ベルト交換の作業手順書を策定し、関係者にOJT(現場で、実物での教育・訓練)を行う。
- ③定期メンテナンス等の際は、各作業でのさまざまな危険性を予知・予測して作業を行うようTBMで徹底を図る、など。

(4) 環境安全部から

- ①作業手順書を作成すること。作業手順書には回転体を取扱場合、軍手は使用しないこととする。作業前には作業手順書を用いて「慎重に作業する」ことを徹底する



5. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	会社で作業中
どこで	倉庫の北側ショットブラスト室で
何をしている時に	ショットブラスト作業をしている時に
どうなった	足元に飛散している鉄粉に足を取られて転倒しそうになりヒヤリした